

会 議 録

会議の名称	白岡市第1回児童福祉審議会
開 催 日	令和5年7月29日(土)
開 催 時 間	午前10時00分～11時30分
開 催 場 所	保健福祉総合センターはびすしらおか2階 会議室3・4・5
会長の氏名	佐々木由規子
出席者(出席委員)の氏名・出席者数	佐々木由規子・安藤瑞穂・興文明・高柳和子・堀田美紀 鈴木きよ子・左納雅之・直井明子・佐々木徹・寺井堅一 堀川祐規 11名
欠席者(欠席委員)の氏名・欠席者数	大木正仁・青木春乃・尾崎喜代子・杉本朋子・齊藤千枝子 5名
説明員の職・氏名	こども保育課 主査 廣辺和隆 子育て支援課 主幹 鈴木順子・主査 田中秀幸
事務局等職員 の職・氏名	健康福祉部長 中山玲子 こども保育課長 小船伊純・課長補佐 大久保修一 主査 廣辺和隆 子育て支援課長 本村剛士・課長補佐 小林聡一 主幹 鈴木順子・主幹 長谷川研 主査 田中秀幸・主任 今泉夕香理
その他 会議出席者 の職・氏名	傍聴者0人
会議次第	1 開 会 2 挨 拶 3 委員紹介 4 議 題 (1) 民間認可保育所の新設について (2) 令和4年度白岡市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について (3) その他 5 閉 会

<p>配 付 資 料</p>	<p>資料 1 第 1 回白岡市児童福祉審議会次第 資料 2 白岡市児童福祉審議会委員名簿 資料 3 民間認可保育所の新設について 資料 4 令和 4 年度白岡市子ども・子育て支援事業計画実施計画（進行管理）調査票 資料 5 白岡市児童福祉審議会条例 資料 6 白岡市児童福祉審議会会議運営要領</p>
<p>議 事 の 経 過</p>	
<p>発 言 者</p>	<p>議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項</p>
<p>課 長 会 長 課 長 課 長 会 長 事務局 説明員 会 長 委 員 こども保育課</p>	<p>1 開 会 会議の開会を宣する。</p> <p>2 挨 拶 佐々木会長から挨拶がなされる。</p> <p>3 委員紹介 委員紹介及び市職員紹介を行う。</p> <p>4 議 題 議事の進行については、白岡市児童福祉審議会条例第 6 条の規定に基づき、佐々木会長に依頼する。</p> <p>暫時の間、議長職を務める。 中山部長から佐々木会長へ諮問書（議題(1)）を提出する。</p> <p>(1) 民間認可保育所の新設について 廣辺主査から議題(1)について説明を行う。 説明の内容について質問等を求める。</p> <p>資料 3 にある保育所の園庭が狭いと思うが、大丈夫だろうか。また、発達支援室とあるが、障がい児保育についてどのように考えているか。</p> <p>園庭の面積については、保育施設の定員に応じて規定されている。この園庭については、規定を満たしてうえで、若干広く設計されているため、問題ない。</p> <p>この保育施設は、保育施設のほか、発達支援室、子育て支援センター、病児保育室を有する複合施設である。発達支援室については、児童発達支援を行う場所となっている。法人としては、保育所</p>

	<p>の中で気になる子どもがいた場合に、児童発達支援と連携して発達の支援を行うことを想定している。</p>
<p>委員</p>	<p>開設予定年月日について、4月1日から入所することが通常であると思うが、7月1日までは入れないということか。</p>
<p>こども保育課</p>	<p>当初は、4月1日開所の予定で進めていたが、建築資材の状況や人材不足の影響により、法人側で入札不調があった。そのため、工期が3か月遅れる見込みとなり、7月1日開所予定となった。</p>
<p>委員</p>	<p>保育所入所申込について、7月1日開所の場合も前年11月に入所申込みを行うこととなるのか。</p>
<p>こども保育課</p>	<p>通常、4月1日入所の保育所入所申込については、前年11月に申込みを受け付けている。現時点で（仮称）白岡みちのこ保育園の入所を希望する場合は、7月1日入所として前年11月に申込みを受け付ける方向で考えている。また、年度途中の申込みについても並行して行う予定である。市民の方に混乱がないよう広報やホームページ等で丁寧に説明していく。</p>
<p>委員</p>	<p>以前、うぐす保育園新白岡が開設された際に、4、5歳児の利用が少ない分3歳児の受け入れを増やしていたと思う。3歳で小規模保育園から認可保育所に移行したい方がいたが、前年で3歳児の定員が一杯で入れないという状況があったため、知らなかったと言う保護者も多かったと聞く。もしも4、5歳児の利用が少ない分3歳児を増やしているのであれば、その状況について翌年利用する方に説明があったら良いと思う。</p>
<p>こども保育課</p>	<p>現時点で、どのような体制をとるかについてはまだ法人と調整していない。そのような事項があれば、皆様に周知を図っていきたい。</p>
<p>委員</p>	<p>子育て支援センターについて、市内のしらおか虹保育園にもあるが、異なるものなのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>しらおか虹保育園の子育て支援センターは、市の業務委託として運営していただいている。（仮称）白岡みちのこ保育園についても同様に業務委託として運営していただく予定である。</p>
<p>委員</p>	<p>働いていなくても保育園に預けられる話があると思うが、通常の利用で定員を満たしている場合にどこまで実現されるのか。</p>
<p>こども保育課</p>	<p>誰にでも保育については、こども家庭庁からはっきりしたことは</p>

	<p>示されていない状況である。当市の状況としては、今年度の待機児童数は県内4位となっており、通常の保育を求めている方に対して足りない状況である。誰にでも保育がどのようなサービスか分からないことが多く、当市や保育事業者にとっても悩みどころである。国の動向や待機児童の状況を鑑みながら検討していきたい。</p>
事務局	<p>国が待機児童の解消として市町村での保育の整備を進めてきたことにより、一部の地域では、待機児童が解消され、欠員が出ているところもある。国は欠員の補完として、保育に欠けていない方も利用できる施策を考えている。当市は、まだ保育に欠ける方が利用できない状況がある。自治体によって国の目的と現状が一致しているところとしていないところがあると認識している。</p>
委員	<p>病児保育について、病児保育の利用者は保育園に通っている方のみ利用できるのか。また、預けたいのに預けられない方も多いと思うが、3名の設定理由について伺いたい。</p>
こども保育課	<p>病児保育は、市内の保育施設や幼稚園に通っている方が対象である。また、3名の設定については、配置基準や面積要件に基づくものであり、看護師、保育士各1名を配置することから3名まで受け入れることとなっている。</p>
委員	<p>3歳の利用定員18名について、2歳の利用定員15名の持ち上がりにより、3人の枠しかない。小規模保育園から認可保育所に移りたいというニーズは多いと思うが応えられるか。</p>
こども保育課	<p>今回、小規模保育園の数は増えないため、この認可保育所ができることにより、小規模保育園から認可保育所に移れる可能性は高まると考える。また、定員は18名であるが保育所定員の弾力化により、20名まで受け入れ可能となるため、やりくりできるのではと考える。</p>
	<p>さらに、保育所に通う方が3歳から幼稚園に転園する場合も少なくない。年によって状況も異なるため、3歳児で保育所に入れられない方の見込みは難しいが、いわゆる「3歳の壁」をどのように解消するかについては、保育所ができた後も入所状況を鑑みながら考えていきたい。</p>
こども保育課	<p>小規模保育園を卒園後、3歳の定員が一杯で認可保育所に入れないという話はいただいている。幼稚園に転園する方がいることに加</p>

<p>委員 こども保育課</p>	<p>えて、認定こども園の選択もある。市内幼稚園では、認定こども園化を考えている園もあるため、幼稚園とも連携しながら、保育の受け皿について考えていきたい。</p> <p>保育所の送迎バスの安全対策について伺いたい。</p> <p>現在、市内の保育施設で送迎を行っているところはない。また、（仮称）白岡みちのこ保育園についても送迎を行うことは予定していない。幼稚園については、市内4園がバス送迎を行っているところであり、昨年度、県の連絡を受け、市から各園に安全対策について確認させていただいた。</p>
<p>委員 こども保育課</p>	<p>保育の枠を増やしていただくことはありがたいが、受け入れる側の保育士の確保をしっかりとやってもらいたい。他市で事故が起きたところもあり、保育士の負担が増えている面もあると思う。市でもサポートを行っていただきながら安全な運営についてお願いしたいと思う。</p>
<p>委員 こども保育課</p>	<p>保育業界では人材不足と言われ、保育士の雇用に関しては、公立・私立にかかわらず、苦勞されている状況であると思う。まず、人材を確保して、どのように保育の質を保ち、向上させるかが課題であると思う。市では、月1回各園長を対象とした代表者会議を開催している。来年度は、その場を活用して市主催の研修などを行い、民間園と協力しながら保育の質の向上に努めていきたい。</p>
<p>会長 委員一同 会長</p>	<p>議題(1)の諮問を妥当と認めることについて異議はないか。</p> <p>なし。</p> <p>諮問について妥当と認める。答申については、会長に一任することとしたい。</p>
<p>説明員 会長 委員</p>	<p>(2) 令和4年度白岡市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について</p> <p>田中主査から議題(2)について説明を行う。</p> <p>説明の内容について質問等を求める。</p> <p>21ページの訪問型子育て支援について、内容や0件の理由について伺いたい。</p>
<p>事務局</p>	<p>訪問型子育て支援については、児童館や子育て支援センターに遊びに来た際に相談に応じているが、そのような場所に来られない方に対し、支援センターの職員や家庭児童相談員が家庭に訪問して相</p>

	<p>談に応じるものである。0件については、コロナ禍ということもあり、家庭訪問への抵抗があったのではないかと考えている。引き続き、児童館等に来館した際やホームページ・広報等で周知していきたい。</p>
委員	<p>母子保健と子育て支援が一緒になったことのメリット・デメリットについて伺いたい。</p>
事務局	<p>妊娠、出産や健診など母子保健の関わりを通じて情報が早期に入ることや情報共有のしやすさという点があげられる。一方、責任の所在が曖昧にならないよう役割分担を明確にしていく必要があると考えている。</p>
委員	<p>25ページの放課後子ども教室について、他の小学校でも行っていってほしい。</p>
事務局	<p>御意見については、放課後子ども教室を担当している教育部局に伝える。</p>
委員	<p>10ページの障がい児保育の関係で、保育園と療育施設を併用している方がおり、久喜市にある療育施設を利用しているという話を聞く。市内の療育施設も増えていくと良いと思う。</p>
事務局	<p>療育施設については、市内でも増えてきている。市外の療育を利用することについては、広域利用ができ、計画事業所や保護者がサービス事業所の選定を行っている。サービス利用の約半数は保護者が選定している状況から、保護者への情報提供が大切であると考えている。市内の事業者を増やしていけるよう努めていくとともに保護者への情報提供にも努めていきたい。</p>
委員	<p>9ページ、21ページの理学療法士による発達相談は、乳幼児健診で相談が出来るのか。また、就学後の発達相談についてどこに相談したらよいかはどうか。</p>
事務局	<p>理学療法士による発達相談は、健診で必要だと認めた方や保護者からの相談に応じて、健診とは別に行う。</p> <p>保健センターは未就学児のみの対応であるため、就学後も継続して相談が必要な方については、教育委員会や医療機関などの相談機関を案内するなどしてつないでいる。</p>
委員	<p>未就学児のうちから早期に発見することは大事だが、就学以降の支援についても充実して欲しいと考える。</p>

事務局	<p>18ページの悩みごと相談体制の充実について、様々な相談先や実績はあるものの、不登校など低学年の相談について学校に相談してもなかなか解決に至らなかったり、相談先がないという話も聞く。状況について伺いたい。</p> <p>就学後の相談については、学校など教育部門で受けることが多いと思うが、子育て支援課でも受けることがある。子どもや家庭の状況に応じて、適切な相談先につなぐなどして対応しているのが現状である。</p>
説明員	<p>(3) その他</p> <p>鈴木主幹から議題(3)その他（こども計画の策定に向けたアンケート調査について）について説明を行う。</p> <p>今年度、こども家庭庁が発足し、こども基本法が施行され、市町村こども計画の策定についてうたわれた。市町村こども計画は、今後、国が策定するこども大綱等を勘案して、現行の市町村子ども・子育て支援事業計画と一体的に策定できるものとされ、少子化対策や子ども・若者支援及び子どもの貧困対策等を含んだこども施策に関する計画である。</p> <p>当市では、こども計画の策定を想定し、来年度に第2期子ども・子育て支援事業計画の期間満了に伴い、今年度中に計画策定の基礎資料となるアンケート調査を実施する。調査内容については、こども計画を想定したものを考えている。</p> <p>次回審議会において、アンケート調査の項目等について御報告をさせていただきたい。</p>
会 長	<p>説明の内容について質問等を求める。</p> <p>質問等なし。</p> <p>以上で議題を終了する。委員の御協力に感謝し、議長の職を降りる。</p>
事務局	<p>事務連絡を行う。</p>
副会長	<p>5 閉 会</p> <p>安藤副会長から挨拶がなされる。</p>
課 長	<p>会議を閉じる。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>